

要ヶ丘



発行

海士町立海士中学校

住所

海士町大字海士九四四番地
08514(2)0744

一年生

ドリームプラン

二月二十一日(木)に、一年生が「ドリームプラン発表会」を行いました。「将来の目標を設定することで、進路実現に向けて主体的に努力する生徒を育てる」と「自分の将来について考え、発表することを通して、生徒の職業観を育む」ことをねらいとした取組であり、一年間のキャリア学習の集大成となるものです。この日は一日入学でもあり、たくさんの方が来られました。全員がこれまでの学習の成果を堂々と発表することができました。

【教員】

将来の自分について話すことで、分かっていなかったこともわかったし、これからもっと調べたいと思いました。他の人の話を聞いていくと、保育士にもなってみたくなくなりました。みんなの将来の夢がすごくいい仕事だと思いました。将来の仕事についていかに、いつもの生活から意識していきたいと思えます。

【生徒】

二年生

立春式

二月二日(土) 隠岐開発総合センター 島民ホールにて、第四十八回海士町立春式が行われました。今年度は十六名がこの式に参加させていただきましたが、これまでの自身を振り返り、それぞれの将来やこれからの生き方について真剣に考えるよい機会になりました。自身の思い描いた夢を叶えるために、それぞれが自覚と責任をもってこれからの時代を支える大人へと成長してほしいと思えます。

【教員】

将来の自分のために

立春式を迎えるにあたり、私は将来の夢や高校での目標などたくさん未来を考えました。

「将来の夢は？」そう聞かれても私は答えることができません。興味がある職業がたくさんあるからです。将来の夢がたくさんあることはいいことだとよく言われます。確かに、若いうちにたくさんすることに興味を持ち、自分に合うものを探していくのは良いことです。ですが、私は現実と向き合うことから逃げているだけだと気付きました。一つの職業について調べていて、いいことがたくさん書いてあったり、楽しそうだと思うとその職業をいいなと思います。しかし、悪いところが見えていくと、私はやっぱりこっちの職業もいいなと逃げてしまいました。私は今までたくさん職業を調べてきました。しかし、その全ての職業に責任があります。そして楽なことなどないのではないかと思います。働くということには必ずどこかに苦しいところがあり、大変だと思うのです。

それを感じた私は、自分の好きなことなら苦にならないのではないかと考えました。しかし、それは自分の好きなことを見つけた前提の話であり、生活が安定するとは限りません。私はまず未来を見据える前に、今を大切にすればいいのではないかと考えました。どの職業に就くのも、結局は自分です。未来の自分は今の自分の経験や努力からなっています。だからこそ私は「今、自分がやるべきことは何か」を考えました。

それは学力をつけることです。高校に入るのにも、大学に入るのにも学力

は必要です。しかし私は今まで何度もこの学力をつけるという目標を立ててきました。しかし持続してやり遂げたことはありません。だからこそ約一年後に迫った受験に向け、学力をつけるとい目標を立てました。私は努力や継続が苦手です。自分の苦手なことから逃げず、目標に向かい、学力を上げるために何を継続していくのかしっかりと考えたいです。

「将来の夢」それはもう現実にしていかなければなりません。将来に何が繋がるのか私にもわかりません。何が大切で、何がいらぬものなのかではなく、全てを経験としてこれからは失敗も成功も自分の力にしていきます。

立春式を迎えるにあたり、将来の自分、そして今の自分についても考え直すことができました。まずは「今」を大切に一つ一つ苦手なことにも挑戦し努力していきたいです。

【生徒】

二年生

キャリア学習

二年生は、キャリア教育の一環でゲストに島前高校の多々納校長先生を迎え、授業をしていただきました。「希望の轍」というテーマで、今をどのように生きるべきか、また高校をどのように選んでいくべきなのか二時間にわたり熱い話をしていただきました。

【教員】

今回、島前高校の校長先生のお話を聞いて、特に勉強になったことが二つあります。一つ目は自分の道は自分で作るということです。今は選択させられる側だったり、失敗することも多いけど未来や先のこととは自分で考えたり、失敗してもそれを活かして次につなげられるようになりたいと思えました。二つ目は、夢じゃなくて希望を持つことです。夢を持つこともとても良いことだけど、それを具体的に考え、実行に移すことをもっと頑張っていきたいと思えました。今回のお話で高校についても知ることができたり、自分を見直すことができた良い機会になりました。「今、出来ることを大切に」を意識して日々を過ごしていきたいと思えます。

【生徒】

三年生

香港遠隔交流授業

ジオパーク学習の最後の授業で、香港ジオパークの方とつないでいただき、香港の中学生とスカイプを介して交流をしました。初めて同世代の外国の生徒と、慣れない英語での交流に緊張したようですが生徒たちにとって良い経験になったと思います。

【教員】

言葉が通じないので、最初はちゃんと交流できるか不安だったけど、同時通訳をしていただいたヤゴタさんのおかげで楽しく交流することができました。香港ジオパークと隠岐ジオパークの似ている点、異なる点など気づくことが多くありました。あまりフリーに話す時間はなかったけど香港の学生さん達にも笑顔が見られて楽しそうだったのでよかったです。また、香港ジオパークの話聞く中で、隠岐ジオパークのことも、もう一度考え直したり、調べたことを思い出すことが来たりして、とても良い機会になりました。

【生徒】

三年生

性に関する授業

二月十四日に役場から二名の講師さんと、海士町に住んでおられるお母さんとお子さんを招き、性に関する学習を行いました。三つの体験・ふれあいコーナーを巡り、自分は今まで様々な元気人たちに支えられ育ってきたのだと感じられたと思います。とても貴重な体験ができました。協力してくださった方々に本当に感謝いたします。

【教員】

今回の性に関する授業では、特に妊婦体験が印象に残っています。靴下を履くこと、寝るとき、階段の上り下りなど世の中のお母さんは本当に大変なんだろうなと思いました。また、赤ちゃんとのふれあい体験では、最初はどうのように接すればよいのかわからず困ってしまったけど徐々に触れ合えるようになってよかったです。でも、抱っこをしたときは泣き出してしまったけど楽しかったけど難しいとも感じる事ができました。

【生徒】

薬物乱用防止教室

二月五日に警察署から講師をお招きして薬物乱用防止教室を行いました。スライドと動画で薬物の基礎知識から、意外と知らない情報を丁寧に教えていただき、メモ用紙の裏までぎっしりメモを取っている生徒もおり、とても感心しました。自分にも関係してくる身近な問題として今後に生かしてもらいたいです。

【教員】

薬物は怖いものだとなんとなく最初から思っていたけど、今回の授業で改めて薬物の危険さを具体的に知ることができました。また、見せていただいた動画では薬物を使って倒れて障害が残ったり、人身事故を起こしている、これが実際に起こっていることだと考えるととても怖くなりました。私はもし本当に薬物を進められるようなことがあっても絶対に手を出さないようにしたいと思います。そのようなことがあったらしっかりと断

り、人に相談し一人で抱え込まないようにもしたいと思いました。

【生徒】

るかや、ネットとのつき合わせなどが話題となり、親子で会話していくことの大切さを感じられた様子でした。

【教員】

新入生一日入学

フレッシュな新一年生を迎え、参観授業や生徒会による学校説明を行いました。一年生の授業は進路学習の「ドリームプラン」を発表し、二年生は数学の「確率」について、三年生は国語の「奥の細道」を調べて発表する授業でした。新一年生は緊張しながらも、きらきらした目で中学校の授業を参観していました。どの授業も楽しく、新鮮だったと思います。また、部活動体験では、終わった後に「楽しかった！」という声が聞こえました。四月の入学が待ち遠しいです。また、保護者の方々と「親学」を行いました。和気藹々とした雰囲気の中、スマホを持たせ